

1. 授業の概要(ねらい)

ローマ時代の伝記作家プルタルコスが書いたアレクサンドロス大王伝を素材として、史料批判の方法を学ぶ。アレクサンドロスの生涯については、彼の生前からさまざまな伝承や創作が積み重ねられ、それらがさらにローマ帝政期の知識人たちによって取捨選択されて、現存する大王伝が成立した。よってアレクサンドロスの治世を再構成するには、大王伝を一字一句厳密に読み解いて事実と創作を見分けると同時に、ローマ時代の価値観による人物像の偏りを明るみに出すことが不可欠である。そうした史料批判をふまえて、彼の治世をギリシアから中央アジアに至る広大な世界に位置づけ、大王の歴史的意義を考える

2. 授業の到達目標

大王伝を一字一句厳密に検討し、事実と創作を識別できること
大王伝から著者自身のアレクサンドロス像を読み取り、それを的確に表現できること
史料から自分なりのアレクサンドロス像を再構成し、彼の歴史的意義を明らかにできること

3. 成績評価の方法および基準

中間試験40%、期末試験60%

4. 教科書・参考文献

教科書

プルタルコス 「アレクサンドロス伝」 授業用テキストを無料配布する

参考文献

澤田典子 アレクサンドロス大王 ちくまプリマー新書

5. 準備学修の内容

テキストの指定された箇所を必ず事前に読んでくること

6. その他履修上の注意事項

毎回小さな課題を出して答案を書いてもらい、その提出をもって出席を認定する

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション、古代マケドニア王国史概説、プルタルコス解説
- 【第2回】 アレクサンドロスの少年時代：伝承はどう作られるか
- 【第3回】 グラニコスの会戦：戦闘は当日か翌日か
- 【第4回】 ゴルディオンの結び目：遠征軍の状況と伝説の形成
- 【第5回】 イッソスの会戦：両軍はいかなる戦略を立てていたのか
- 【第6回】 エジプト平定とアレクサンドリアの建設：本当に大王が新都市を着工したのか
- 【第7回】 ガウガメラの会戦とパルメニオンの人物像
- 【第8回】 前半のまとめと中間試験
- 【第9回】 答案の返却と講評、書き直しの指示
ベルセポリス放火事件の真相は何か
- 【第10回】 (オンライン授業)
ダレイオス3世の人物像：ペルシア帝国はなぜ滅びたか
- 【第11回】 東方様式の採用と跪拝礼
- 【第12回】 カリステネスの人物像：跪拝礼導入反対の演説は真実か
- 【第13回】 ヒュファシス河畔での反転：真相は何か
- 【第14回】 イランとパキスタンでの実地調査の紹介
- 【第15回】 後半のまとめと期末試験